

# 大田区洪水ハザードマップ

中小河川版は、東京都「都市型水害対策連絡会」が公表した「城南地区河川流域浸水予想地図（平成19年7月作成）」および「野川、仙川、谷沢川及び丸子川流域浸水予想地図（平成17年6月作成）」（想定降雨量いずれも平成12年9月発生の上東海豪雨、総雨量589mm、瞬間最大雨量114mm）をもとに、多摩川を除く区内中小河川流域における浸水予想区域や浸水の程度、避難所等を示したものです。

## 【中小河川版】

ハザードマップで示される浸水予想区域より浸水の程度は、あくまでも目安です。浸水の程度や発生時刻は実際の降雨や気象条件、河川・下水道の状況状況により変わります。大田区の他の、他にこのハザードマップのような浸水が起きるだけでありません。  
平成24年3月改訂 大田区

## 「大田区洪水ハザードマップ」の発行にあたって

区では、水防法第15条に基づき区民の皆様に水害に関する情報を事前に提供して役立てていただくため、「大田区洪水ハザードマップ（多摩川版、中小河川版）」を作成しました。  
このハザードマップには、浸水の予想区域や浸水の程度及び避難所等が記載してありますので、日頃から家庭で避難時の行動を話し合うなど、事前の備えにご活用ください。

凡 例	
学校 避難所	地下浸水
特別避難所	地下浸水(暫定)
地域防災センター	河川
警察署	大田区界
消防署・消防出動所	大田区界
避難所	地域防災センター等
水の深さ	鉄 道
2.0～3.0m	2階以上浸水程度
1.0～2.0m	1階以上浸水程度
0.5～1.0m	1階以下浸水程度
0.3未満	1階以下浸水程度
水の深さ	
0.3未満	
魚類特別危険箇所	

## わが家の学校避難所

わが家の学校避難所や緊急時の連絡方法について話し合しましょう。

わが家の学校避難所	緊急時の連絡方法
なまえ： _____	なまえ： _____
でんわ： _____	でんわ： _____
なまえ： _____	なまえ： _____
でんわ： _____	でんわ： _____

## 避難時の注意

- 1 正確な情報の収集を**  
白濁がらやラジオ・テレビで最新の気象情報、浸水情報、避難情報を受け取りましょう。電の停りや携帯電話の状況に注意し、息を止めたままの対応をお願いします。
- 2 避難の呼びかけに注意を**  
息掛けが止まるときは、区別用避難書から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合は、速やかに避難してください。
- 3 高い道路を走りましょう**  
避難時にはできるだけ高い道路を選び、浸水が浅い箇所を歩きましょう。溝や段差などに注意しましょう。また、けが防止などで必ず安全帯を正しく着用しましょう。
- 4 万が一、逃げ遅れたときは**  
万が一避難が遅れ、逃げ遅れたときは、その父や兄弟の避難の助けをお願いします。

## 水害に備えた心構え

- 1 学校避難所や避難所を確認しておく**  
家での避難時の行動について話し合っておきましょう。地区ごとにある避難所や避難所を把握し、そこへ安全に行きたくらいの道が分かるようにしましょう。
- 2 非常食や持ち出しやすい物などの準備**  
非常食には、調理の手間がかからず、水も取り出しやすいもの、缶詰・缶入りの飲料も準備しましょう。また、電卓やラジオ、充電機も忘れずに用意しておきましょう。
- 3 大雨・台風に乗って家の周りを点検・整備**  
家の周りに吹き飛ばされそうなものはないか、戸や扉などには壊れかたがないか確認しましょう。土の盛りや土留め、排水設備（ポンプ）の整備・点検を行いましょう。
- 4 浸水や雨水すの清掃を**  
浸水や雨水すの詰まりは道路浸水や浸水の原因になります。白濁がらや汚泥にご注意をお願いします。

## マップの見方のポイント

浸水深さ：一般に50cmの浸水（浸水1階以内）を想定して最大の水深となる地点で深さを示しています。一部に河川沿いは浸水1階以下を想定しています。浸水が深くなるほど浸水の色が濃くなります。また、河川から離れたいても、青色・水色・黄色で示される浸水は、浸水1階以下を想定するものではないです。黄色で示される場所も、地下浸水する等の危険があります。水害のあまればおきるときは、路上にあぐらをかいてください。

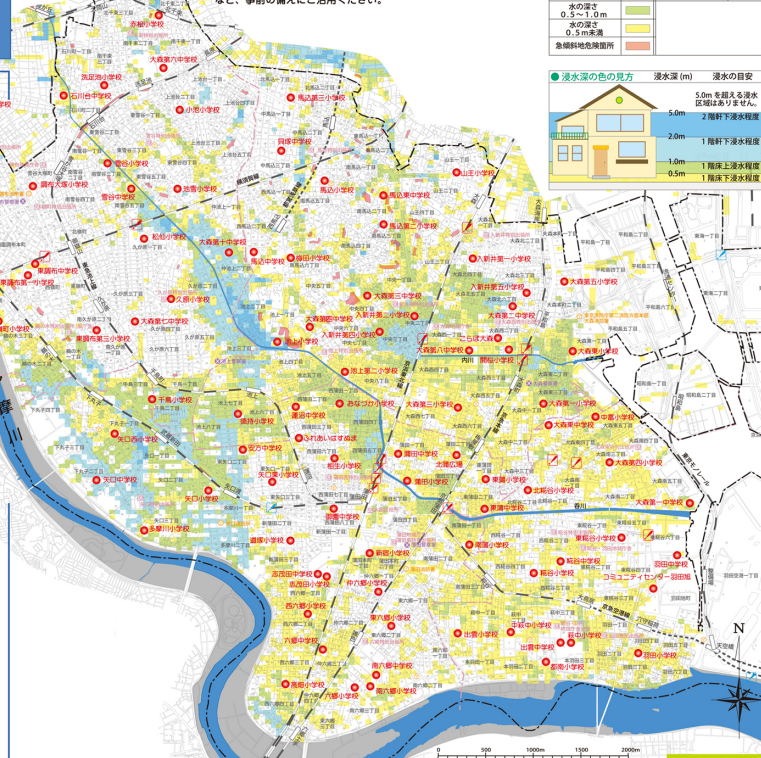
## 要支援者への支援

高齢者や身体の不自由な人など、災害時の避難に支障をきたす人（要支援者）に対しては、地域ごとの支援体制を整え、避難の呼びかけや避難の準備などをサポートしてください。



## 雨の降り方と強さ

- 1 強い雨（1時間に10～20mmの間）**  
短雨～激雨に変わりやすく、話し声が聞き取りにくくなります。雨具がないときは傘が必須です。
- 2 激しい雨（1時間に20～30mmの間）**  
土砂降りや雷。傘を立てても濡れてしまうほどの雨です。
- 3 非常に激しい雨（1時間に30～50mmの間）**  
バケツをこぼり出したような激しい雨。屋根ががらこぼりやすくなります。
- 4 猛烈な雨（1時間に50mm以上の雨）**  
海のような降り、あたりが水に浸るまであっという間に。中小の河川が氾濫し、高層階の建物も倒壊が懸念されます。避難場所がなくなる可能性があります。



● 浸水深の色の見方	浸水深 (m)	浸水の目安
	0.3	5.0mを超える浸水区域はありません。
	0.5～1.0	2階以下浸水程度
	1.0～2.0	1階以下浸水程度
	2.0～3.0	1階以上浸水程度

【中小河川版】